

会員生協紹介



石川高専生協購買



商品やメニューは大学生協と同じものを利用していますが、実際の提供方法等を見ると、石川高専に通う高校生や学生に喜ばれるよう

煮物系のメニューも提供しています。このように、学生や教職員が利用しやすい生協になるように、理事会でも、議論が活発に行われています。学校と生協の強い協力関係を築いていくためにも、日々、学生・教職員への総合的な福利厚生事業を行ってまいります。

(金沢大学生協 杉本恭子
「石川高専生協理事」)

高専生とオリジナル菓子を作成・販売 人気の「バリューセット」で利用しやすい生協に

石川高専生協

石川高専生協は平成16年に設立されました。石川工業高等専門学校(以下「高専」)の校舎の敷地内に「養高館」の名称で、1Fが食堂、2Fが購買となつています。食堂・購買ともに、この10年の間に1回ずつ改装が実施されています。また、高専生と一緒にオリジナル菓子の作成や販売が行われるなど、店舗の取り組みが広がっています。

商品やメニューは大学生協と同じものを利用していますが、実際の提供方法等を見ると、石川高専に通う高校生や学生に喜ばれるよう

な店づくりが工夫されています。食堂のメニューの提供を例にとると、大学生協の食堂では、自分でおかずやご飯を選んでとるカフェテリア形式を利用される大学生が多いですが、高専生は定食を好んで利用されます。そのため、石川高専生協では、「バリューセット」というセットメニューを作り、昼食時に提供しています。「バリューセット」は、もともとフライヤーが中心のセットでしたが、一部の学生組合員や教職員からの要望にあわせ、煮物系のメニューも提供しています。このように、学生や教職員が利用しやすい生協になるように、理事会でも、議論が活発に行われています。学校と生協の強い協力関係を築いていくためにも、日々、学生・教職員への総合的な福利厚生事業を行ってまいります。

(金沢大学生協 杉本恭子
「石川高専生協理事」)

「まちなみマップづくり」をすることで、安全・安心な住みよいまちづくりに向けて取り組みを進めている。必要に応じて行政に要望として提出していきたい。

④ 金大生協における防災対策と熊本地震被災者支援募金の取り組み

金沢大学との災害時における協力の締結、災害ボランティアコードインネーター研修に参加するなど防災対策の取り組みを進めていきたい。また、熊本地震の被災地支援募金などに取り組んでいる。

⑤ コープ北陸20周年と今年度の重点課題について

コープ北陸 玄田博司代議員
創立20周年を迎えて、記念式典や記念商品開発、記念セール等の取り組み、「コープファミリー」と「くらしのパートナー」の合冊化など今年度の重点課題に取り組みたい。

● 青海専務理事の答弁

50周年記念事業で会員交流ができてよかった。今後も会員のニーズを基に企画していきたい。

● 会員生協と一緒に防災・減災の取り組みを行っていききたい。

● まちなみマップづくりは災害時のハザードマップにもなり、地域に根差した活動のモデルとなる。学校や地域生協と一緒に活動できればよいと思う。

● カタログの合冊化や世代別カタログに期待している。市のシンポジウムでは食の安全確認業務や「あんあんニュース」が高く評価された。皆さんの発言をプラスしていきたい。から今後も豊かに活動をつくっていききたい。

議決状況

- 第1号議案 2015年度活動報告・決算関係書類承認の件
 - 第2号議案 2016年度活動方針・予算決定の件
 - 第3号議案 役員補充(理事1名)選任の件
 - 第4号議案 役員報酬決定の件
- 全議案について賛成多数で可決決定しました。
- (生協連 高木晴美)

金沢市 食の安全・安心シンポジウム開催

2016年6月19日(日) 石川県地場産業振興センター

金沢市食の安全・安心の確保に関する条例が昨年10月に施行され、食の安全を守ること、その安全をどのようにしたら安心につなげていけるかを考えるシンポジウムが開催されました。



講演する五十嵐美幸氏

第1部の基調講演は、テレビでも活躍中の中国料理美虎(みゆ)のオーナーシェフ五十嵐美幸氏が「おいしいって、なんだろう?」美幸流 家族が笑顔になる、美味しさの作り方」と題し、料理は相手を思いやる気持ちが大切であり、食材そのものの味や、思い出や懐かしさがおいしさにつながると話されました。

第2部は「食の安全・安心につなげるために」をテーマにパネルディスカッションが行われ、学識経験者、食品事業者、消費者がそれぞれの立場



パネルディスカッションのようす

から食の安全と安心の取り組みについて報告し、意見交換を行いました。消費者代表として参加した生協連青海専務理事は、コープいしかわの「食の安全ミニ講座」や、コープ北陸の品質管理セミナーの開催、「あんあんニュース」の発行、生協連のレスポンスのメニュー表示やお土産の表示を見て回った「金沢食品表示みはりたし」、「金沢のお土産★太鼓判」など、生協の食の安全安心の取り組みについて報告し、事業者、行政、消費者の果たす役割について議論を深めました。

(生協連 加藤喜美子)

みんなで楽しく健康づくり 安全に生活するための

第23期 金沢医療生協「保健学級」開校

金沢医療生協では発足時から健康づくりの活動として「保健学級」に取り組んでいます。保健学級では、医師・看護師・栄養士・理学療法士などから役立つ内容を学びます。今年で第23期の開催となり、テーマは「みんなで楽しく健康づくり」安全に生活するためにです。

この企画は気軽に参加できるように体験を交えて、楽しく健康づくりに取り組める内容となっております。5月〜11月まで6講座を予定しています。(6ページに掲載)みなさんも一緒に学び、まわりに健康づくりを広げていきましょう。

(金沢医療生協専務理事 柴原ひろみ)



自宅で安全に生活するポイントについて聞く参加者

住宅の安全性について自宅で安全に生活するためのポイントを実例をもとに解説してもらいました。参加者からは「日頃から考えていたが、改めて参考になりました」「今は必要なくとも、何が起るかわからない。今後に向けて考えていきたい」「福祉用具について知る事ができた」等たくさん声を聞くことができました。